



最新の設備で、おいしい給食

～南部学校給食センター着工～

南部学校給食センターの移転新築工事が6月1日、着工しました。

建設予定地は大垣消防組合消防本部の南側(外野3)で、平成22年3月に完成し、同年9月から供用を開始します。

現在の施設(新田町1)は、開設して43年が経過し、施設・設備が老朽化したことなどから、最新の衛生管理システムを備えた新センターを建設するものです。

工事に先立ち5月26日、建設予



完成予想図
(平成22年9月供用開始)

定地で安全祈願祭が行われ、小川市長や野村市議会議長ら関係者約60人が参加しました。

新センターは、2階建てで、敷地面積は約7,600㎡、延べ床面積は約5,200㎡。1階は調理室・事務室などがあり、完成すると1日に最大1万3,000食を調理できます。2階に

は調理工程などを見学できる通路のほか、食育指導などを行う研修室などを設けます。

また、新センターの整備は、PFI法(民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律)に基づき、施設の設計や建設、維持管理、配送・回収を一貫して民間業者に委託して実施します。

詳しくは、南部学校給食センター(☎89-2033)へ。



安全祈願祭に参加する小川市長(左)と野村市議会議長(右)

第2回市議会定例会

補正予算などを審議

第2回市議会定例会は、5月29日開会されました。

この日、会期を6月11日までの14日間と決めた後、人事案件1件を先議、人権擁護委員候補者に赤尾春江氏(新任)を推せんすることに同意しました。

その後、平成21年度一般会計補正予算など23議案を一括上程、小川市長が提案説明しました。続いて、「職員の給与に関する条例等」「市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例」「常時勤務を要する特別職の給与に関する条例」の一部改正が担当委員会に付託され、審査の後、可決されました。

6月5日には一般質問が行われまし

た。議決された議案などについては、本紙7月1日号でお知らせします。

全国市議会議長会表彰の伝達

5月29日、定例会の開会前に全国市議会議長会の表彰の伝達があり、次の方に表彰状が手渡されました。

- 〈特別表彰〉
◇議員30年以上 高畑 正 議員
- 〈一般表彰〉
◇議員10年以上 岡本敏美 議員

住宅火災の原因で最も多いのはコンロの使用に関係したもので、そのうち天ぷら油によるものが大半を占めています。

天ぷら油は、火を弱めても温度が徐々に上昇し、約360℃～380℃以上で発火します。

また、天ぷら鍋の中に揚げかすなどが入っ

ている場合には、それが火種となって約200℃ほどで発火することもあります。

天ぷら油による火災を防ぐため、次のことに心がけましょう。

＜天ぷら油火災の予防のポイント＞

- 揚げ物をしているときは絶対にその場を離れない
 - その場を離れたときは必ず火を消す
 - 過熱防止装置の付いたコンロで調理する
- 火災予防や火災発生件数など詳しくは、大垣消防組合消防本部予防課(☎87-1512)または最寄りの消防署、上石津地域の人は養老町消防本部養老消防署上石津分署(☎45-3004)へ。



ご注意ください
天ぷら油火災

以上、5つの政策目標を実現します。

「自立・安定」では、「小さな市役所・大きなサービス」を推進し、効率的で満足度の高い行政経営に取り組み、病院を除く職員数を70人削減するとともに、公債費比率10%を目指します。また権限移譲などの地方分権を推進します。

次に「安全・安心」では、浸水対策施設として排水機場や調整池、流水抑制施設などを整備するとともに、連合自治会ごとに防災備蓄倉庫1か所の配置を実現します。防犯対策としては、減少傾向にある犯罪件数を毎年1%減少させます。さらに、高齢者や障がい者の福祉対策を推進し、人にやさしい温もりのあるユニバーサルデザインのまちづくりに取り組み、安心して暮らせる環境を整備します。環境問題では、二酸化炭素排出量の削減と循環型社会の実現のため、住宅用太陽光発電システム480件を設置するとともにタンポールコンポスト設置世帯3千を目標とします。

私は、市長3期目にあたり、5つのまちづくりを重点政策に掲げました。前回の「地域活性化」「子育て日本一」に続き、今回は「市民協働」「安全・安心」「自立・安定」について説明します。

まず「市民協働」では、市民の皆さんと行政とのパートナーシップによるまちづくりを推進します。市民の知識や経験などをまちづくりに生かしていく「かがやきライフタウン大垣」づくりを進め、市登録の市民活動団体を現在の116団体から150団体にします。さらに、地域における市民活動の拠点である地区センターを整備するなど、市民の生涯学習環境を充実させます。また市の審議会などにおける女性委員の割合を40%にするなど、男女が対等なパートナーとして個性や能力を発揮できる男女共同参画のまちづくりを推進します。

大垣市長 小川 敏



市長の
かがやきライフ